京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十二年　紀元二千五百六十九年

本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢

大祭日及び日曜日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金二十五錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太

印刷人　松久神一郎

京城西署西小門通（電話六六三）

發行所　京城新報社

甘茶澁茶

▲米價何が高き

本年は內地未曾有の豐作なりし爲め米價の暴落を來し韓國各地より適當の輸出費を仰ぎ市場持出し艀船積み込み稅關、保險、荷換等を合して一石に付き約二圓七十錢を費して之を日本に輸出するも到底利に合はず去ればとて他に販路なく、如之本年豐作を見たる韓國にありては無慮七百萬石の米穀各所の倉庫に堆積し居り玄米の相場が四圓四五十錢臺に下れるに白米の値甚だ騰ならず今尚ほ十三圓を下らざるは何が故ぞ、余輩は其の謂れを知るに苦しむ、不思議の邊に意外の利を網し居るものあるにあらずや、米商監視の要あり。

▲仕事無からず

堂々たる學校出の美しき金看板を揭げて社會に打ち出したる者の稼ぐに仕事なしとて戶迷ふもの十年一日の如く空しく志を得ず徒食するもの頗る多く氣の毒の感なきにしも非ざれど顧みて考ふるに彼等の多くが希望するが如き割よき仕事は範圍至て狹く到底希望者の全部を包容すべくもあらず所謂供給過剩を來せるなり、是れ彼等が希望の仕事は彼等を待て後ち爲し遂げらるゝものにあらざるを示すものにして世人の多くが亦た之を爲し得るを意味するものなり、言を換へて云へば世人の文明の程度は既に彼等と相去る遠からざるに至れるを示すものにして、彼等は今や世人と同じく有ゆる仕事に從事せざるべからざる時代に達せるなり、而して此の如き現象は日本の漸く事實の一等國たるに至るも遠きにあらざるべきを示すものにして寧ろ喜ぶべき所なり。

▲吠ゆる犬は不噛

爲すあるの士は多く語らず、多く語るものは爲す所は鮮し、今日對韓の事にして爲すべきありとすれば着々之を行ひ元より可なるべしと雖も、徒らに騷ぐは啻に無益なるのみならず遂に其の希企を敗るに至らん、事を爲すに騷ぐは用なし、騷ぐものは決して遂げず、實戰躬行是れ余輩の旨ならずや、吠ゆる犬は噛まず、當に搏たんとするの鷹は必ず先づ其の爪を收むるにあらずや。

雜報

韓國の穢多種族（今村警視の談話）

社會外の社會として多數の人類より輕侮視せられ迫害窘逐を蒙りて社會上に何等の地位をも認められず暗黑裡に葬り去らるゝ穢多種類の理由は何か、韓國にも穢多種族尠からず母國に於ても彼の穢多と稱する賤民の起源に就て研究を怠らざる學者あり、警務局事務官を兼任せる今村警視は特に此等の方面に研鑽を積み論旨明徹にして材料豐富なれば本日以後數日の紙上に亘り之を連載すべし（日韓電通）

（一）白丁穢多の意義

朝鮮では穢多の事を白丁（びやくちよう）と云ふ語源を究めて見ると隨分面白い傳說がある第一に支那では老朽者の事を白頭と云ふ白髮頭の事だ白髮頭は官に就いて職を需める事ができない、白頭と云ふ文字の中には老朽無能の意味も含まれて居る、然るに丁年に達して無智無能の徒を白頭の如き丁年と云ふがつゞめて白丁と稱するに至つたのではあるまいかとの說がある、白痴の白と丁年の丁とを合せても白丁となるから、此等は文字の上からの解釋で後人の附加したものであるらしい、第二、白丁と云ふ姓が韓人に多いので、國家に對して不利な事を行つたとかで白丁の一族が社會外に信用を失ひ排斥を受けるやうな異似の年月變り歲移り遂に今日の如き穢多となるに至つたのだらうと云ふのだが何れも臆測揣摩の說に過ぎないで「韓國沿革」の條下で詳說するが白丁の事を牛車とも云ふ、であるから白丁は牛車を牽るので牛車と云ふ、捨も同樣で別に深い意味はない、又白丁の事を柳匠とも云ふ、これは柳の細工をやるので朝鮮で賤しい職業と見做されて居る、母國で穢多の事を下賤の齒入れとか牛殺しとか分類的に呼ぶやうなものであらう、穢多と白丁とは大差はなからう

白丁の沿革●

今から四千二百年ばかり以前檀君と云ふ王樣があつた或時禹の塗山と云ふところに諸侯を會して評定をやつた今日で云へば萬國會議と云ふやうなもので其席に檀君の大使が參列して、職業の分擔を行つた時白丁に牛殺しの役を命ずる事に評定が一決したと云ふのだが何だかこれは神話的傳說で信憑するに足りない次は三千年ばかり以前殷の箕子と云ふ人が平壤に都を開いたが當時の犯罪人は悉く白丁に墜して社會的地位を奪つて終つた、或は又印度の最下級の民でそれが朝鮮へ來たのだらうとも云ふ說で印度は佛陀の敎を奉じて居るから非常に殺生を忌む、殊に牛を殺したりしやうものなら大變な罪業を冒した事になるので迚も人殺しの罪位では收りがつかぬこれは白丁が牛殺しと云ふ役を有するに至つたと云ふ傳說の以後に附加された說と見るのが至當らしい、次に朝鮮の建國は穢の國と云つたので、それが滅亡して二十萬口の穢の民が遼東へ逃げた逃げ損つた敗殘の民が白丁として戰勝の新興國民から虐待され迫害されたのだとも云ふ更に一說には西藏の最下級民が移住して來て白丁となつたのだとも傳へられて居る、それから又高麗朝の滅びた時、高官だつた兩班七十二人が山にこもつて反抗した敵國の粟を食はすと云ふ譯ではあるまいが食ふものがないので牛を盜んで僅かに飢渴を防いで居た後ちに至り俘虜となつて松都（今の開城）杜門洞と云ふところに死一等を減じて赦免殺別居させられた、この一族が悉く白丁になつたとも傳へられて居る要するに朝鮮の地理的關係から考へて見ると三面悉く海に面し、遼來の他民族が移住に尤も適して居る、かくして入込み來つた各種各樣の種族と種族が競爭した結果優勝者は常民となり劣敗者や刑余の人物などが自然的壓迫排斥から白丁となつたものらしい（つゞく）

俳句

●第七次五吟集　すみれ會

○女郎花　むら撰

女郎花母の下げたる手桶かな　四樂

書に倦て下り立つ芝や女郎花　中庸

風情なき野を彩るや女郎花　雞鶴

亡き母の墓前にさびし女郎花　六坊

▲感章

小流れに鎌研ぐ人や女郎花　四樂

○新酒

うつくしき村の掟や今年酒　○△生

安らけき御世ぞ新酒にはら鼓　中庸

美妓わらず新酒に醉ふて肱枕　○△生

五六樽ついて賑はふ新酒かな　一止

灘伊丹近き新酒の風味かな　玉糸女

大江山鬼が手づくる新酒かな　精華

馬子唄や新酒のゑひの五六丁　萩水

新酒賣る店のむすめや美しき　○△生

新酒出と貼り出す宿の立場哉　月哉

新酒賣る店の松葉の新らしき　○△生

新酒褒て笑止がられぬ京言葉　失名子

馬の脊に熨斗の附たる新酒哉　四樂

▲感章

風味試てと嫁の里より新酒哉　四樂

▲同

新酒船江戶新川を埋めけり　水甫

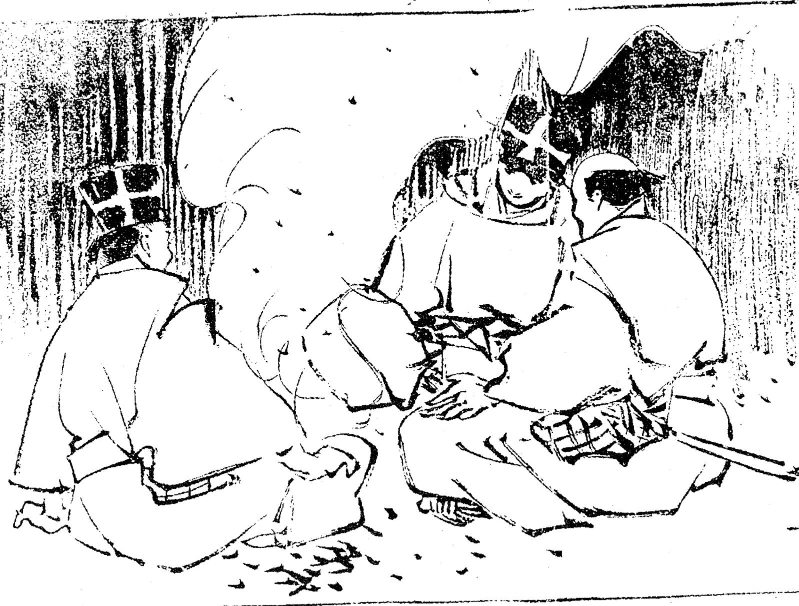
本集に對する懇按は追つて申上候

鎮西八郎

第三十席

伯山改　神田松鯉口演

さて手筈整ひましたから、直ちに夜討を致さんと東三條殿を出發したのは、義朝の兵三百余騎、清盛の兵六百余騎其他重成、義康、光信、季實など都合千七百餘騎にて押出し、白河殿近くなる頃ウワーツと計りに閧の聲を擧げエイ〳〵〳〵潮の湧くが如くに攻め來つたり。此時崇德上皇は集れる所の千余騎と、明朝南都の僧兵千餘人來るを待つて禁裏へ押寄せんと思ふ所へ、味方の間者五六人バラ〳〵ッと馳せ來り「御注進々々、唯今禁裏の兵千五六百騎押寄せ候、御油斷あるな、早々御手配遊ばされよ」と息せき切つて申述べたり「さては敵より夜襲を仕掛けると見へたり、早く手配を整へよ」と賴長の下命に總軍少しく色動き今更ながら敵に先んぜられしを悔ゆる如く士氣少しも振はず、爲朝は冷笑つて「それ見よ拙者の申せし通り我が兄より夜討を仕掛けられたり、早く此方より押掛ければ敵の手配の充分整はざりしことゆゑ何の位味方の利となりしやも知れず、兵は神速を貴ぶと云へり。第一戰爭は攻勢の方勝ち易く守勢の方破れ易し、公卿などと云ふものは何も知らぬくせに彼是と口許り達者で困る」と冷笑つた、賴長之れを聞いて爲朝の歡心を買はんが爲めに急に之を召し、藏人に拜命した、爲朝は昂然として賴長に向ひ「アイヤ今戰爭の始まらんとするに臨みて任官などの沙汰ではござらん、拙者は鎮西八郎にて澤山でござる」と答へたのは、實に男らしく凛々しい御方でございます。さて敵の夜討と聞いて急に手筈を整へ東南の門は平忠正が守り、西南の門は爲義之れを守り、北門は家弘守り、西門は爲朝獨り二十八騎を以て守つて居られます。此二十八騎は九州より從へられた勇士の人々にて、何れも一騎當千の人々、敵來らば九州男兒の腕前を見せて呉れんづといづれも勇氣凛々たる有樣、其內聞ゆる突喊の聲、素破こそ御參なれと、爲義の三男賴賢最先きに馬を乘出し、夜目にすかして見てあれば、彼て見覺へある兄義朝の先陣なれば兄に向つて矢を引くは濟まぬことなれど今は敵味方なれば詮方なしと、弓に矢番へて兵と放せば忽ち一人を射殺し、二の矢にて又一人を射殺したれど、敵より來つたる一本、發止と計りに內兜に立ちたれば馬を返して門內へと退いたり。



爲朝の守れる西門へは清盛の軍勢關を作つて攻め寄せたり、弓矢執つては天下無双と稱はれたる鎮西八郎の在すことを知るや知らずや、最先に伊藤景綱伊藤五、伊藤六の三人進み來り大刀を打振つて面もふらず突擊なす、爲朝之を御覽になり「ヤア〳〵勇ましき奴等の武者振かな、イデ〳〵我が弓勢を知らして呉れんづ」と、忽ち剛弓に矢を番へて切つて放せばその矢伊藤六の胴を貫き伊藤五の袖へ發止と計りに突立つたり、伊藤六は「アッ」と呼び血烟揚げて即死した、伊藤五は直ちに其矢を拔き取つて見ると鏃の大きさは鑿程もある、伊藤五驚いて引返し清盛に此の矢を示したが一軍皆今更ながら呆れ果て、舌を捲いて恐怖した、八町礫の喜平治は胸に掛けたる袋の中より拳大程の石を取出し伊藤景綱の面部を望んで打付ければ石にヒユーッと風を切つてシタヽカに景綱の眉間に當り肉破れ鼻折れ兩眼飛出して息絕ねたり、清盛の軍六百人之れを見て皆震ひをのゝき一人も進む者がない、清盛も詮方なく「我れ必ずや此門へ向へと言へる命を受けしにもあらず退け〳〵」と人數を纏めて退いた、五六百の同勢がありながら三十に足らぬ人數に怖けたること我が笑止さよ、笑へ〳〵とドッと許りに打囃す、清盛の長男重盛大に怒り「ヤア〳〵卑怯なり未練なり、武士の戰場に赴くは强き敵と戰ふてこそ譽れなり敵强しとて退くことやあらん、者共引返せ〳〵」と呼ばつたり、清盛の部下山田伊行も又大音な揚げ「誠に若殿の仰せ御尤なり、强き敵に向ふてこそ我等の本懷、進め〳〵」と言葉の未だ終はらぬうち、爲朝の射たる矢飛來つて伊行の首を射切つて、首は中天に飛上り、胴は馬より堂と落ち、矢は後騎馬の鞍へと留つたり、イヤ清盛の軍勢眞靑になつて震へ出した、餘程恐かつたものと見へて六百人かガタ〳〵ブル〳〵顫ねる音は大地震でも來たかと思ふ程の地響きがしたと云ふ、正可に夫程でもあるまひ

京城新報

造林の急務

當局者に申す

禿山兀々、韓の內地に蜒び、蕭樹縷の滴るが如きの樹叉た睹るべくもあらず、國土開發に惡響を及ぼすこと甚だ深くして造林の一日も忽諸に附すべからざるは、少しく眼識あるものゝ等しく唱ふる所にして、前の統監の如き夙くも心を爰に致し、着々として之が調査に從ひ、企劃する所ありしを、現統監に至つて倍々之を進め、終に韓政府をして農商工部に山林局をも設け、京城水原大邱木浦平壤鏡城の六個所に林業事務所を置き、先づ京城北漢山を始め大邱開城平壤の四個所に模範の造林を試ましめしが、其の成績頗る見るべきものあり。

韓國改善の事其の爲すべき所のもの決して少なからずと雖ども、急造林より急なるは沒く、重造林より重なるはあらじ。韓國をして克く改善の實を擧げしめんと欲せば必ず先づ韓の國土を改善せざるべからず。國土を改善するの途は唯造林にあつて存す。造林植林之を行ひ之を施すは即ち國土を開發するの途にして、國土の開發は軈ては韓の殷富を生じ、延て以て韓人の改善を蓄起するなり。彼のクロマーが埃及を治めんとするに當つて眼をナイル河の流れに注ぎ、早くも埃及の使命を制する所のものは、此の一流にあるべきこさを見て取り、專心專意全力を盡くしてナイルの整理を企て、遂に以て一大寶原を築き、埃及をして終に彼れが如き[illegible]是れ末葉の瑣事のみ、造林を企て植林を施し[illegible]見るべからざるに[illegible]を唱へんよりは、寧ろ之を措て他に事無しと云ふも敢て過言にあらず、造林其の調査の濟める今日、直ちに進で之が[illegible]多々あるべし。[illegible]して實行せしむるの甚だ緊急にして又た甚だ有効なるはあらじ。[illegible]によつて整び、開發も是れによつて遂げらるべく、猶ほナイル河の埃及に於けるが如きに至るも、火を睹るよりも明なるなり。而して之を爲すの途他に[illegible]

由來造林の事は効を奏すること遲く、利潤亦た厚からず、大和の土倉、靜岡の金原、東京の南宮、伊勢の諸戸の盛に造林を爲すに見るに、輪伐輪植年々利潤の擧がるこそ其薄く僅に年三朱を過ぎずと云ふ。[illegible]資金を投じて韓地に企圖せんとするは甚だ易からざるの事業にして、本邦資本家の資本の投下を望むが如きは、殆ど不可能事に屬す。故を以て政府自ら之を營むにあらざるよりは、到底望み無きに似たり。然れども財政の豐ならざる今日にありては、之を政府に望むも亦た無理なるが如し。然らば則ち之を如何にせば可なるか。余輩豈に一の獻策なからんや。

當路者も亦た彼の蘭領ジャワの農業政策なるものを知らん、蘭領ジャワは郡村の幅員に應じて住民をしてコーヒー及び胡椒の頭割栽培を強ひ、施植を強行するにあらずや。而して其の見る所の結果にして頗る良好なるものあるは等しく人の賞賛する所ならずや。余輩は直ちに倣つて以て之を造林上韓國に眞似ぬるは、策の最も得たる所なるを信ず。韓人の頑迷敎ゆべからざるが如きも、已れ之を植ゑて己れ之を有し、利する所は他人にあらずして唯其れ自己なるを知らば、決して誤解を生ずることもあらず、寧ろ進で喜で事に從はんも未だ知るべからず。造林の單位を面とするも可なり、郡となすも可なり、要は面郡の住民をして連帶責任を以て頭割造林を爲さしむるにあり。思ふに一人にして一箇年十本の木を植ゑなば、一千万人にして一箇年植ゆるところの者實に一億萬本となるべし。余輩は當局者が此新しからざる面郡強制造林の事に一日も早く着手せんことを呉々も望んで止まざるなり。

東京電報

▲西桂兩侯の會見

桂首相は西園寺政友會總裁を駿河臺に訪問し會談數刻に及びたるも右は樞相後任問題ならんと傳ふるものあるも多分伊公兇變後政界に變化を來すなからんことを今日豫め意思の疏通を計り置かんと(十二日夜着)

▲露國移民の價値

布哇に於て本邦移民に對抗せしめん計畫したる露國移民約二百二十名到着したるが日本移民に對抗し得るや否や頗る疑問なる節に達したり

▲韓鐵合併決定

統監府鐵道管理局を鐵道院に合併する件は十二月一日を以て實施する事に決定し(十三日着)

▲韓鐵と管理局長

別報 韓國鐵道管理局は鐵道院韓國管理局と名付け局長は現任大屋長官任命され其他從業員に異動なしと(同上)

▲市原總裁の出發

十二日午後三時新橋發木村理事を隨へ歸韓せり(同上)

▲東煙の製造開始

東亞煙草株式會社計畫の滿韓紙卷煙製造は總ての準備完成し京城は十五日より營口は廿日より製造開始の筈(同上)

▲地價總額と增徵額

大藏內務兩省の調査に係る地租の增收額を見るに地價總額十四億四千六十一萬九百八十四圓にして右に對する地租徵收額定率地租は三千五百十萬二千三十三圓、非常增徵額五百三十四萬八千九百二十三圓、府縣市街宅地租附加稅三千二百十七萬三百四十三圓なり(同上)

▲皇后陛下の行啓

皇后陛下には本日學習院女學部に行啓あらせらる(十三日)

▲伊藤公の廿日祭

明十四日は故伊藤公の廿日祭の相當するを以て伊藤家にては親戚知人を招待し例祭を行ふ(同上)

▲兩殿下の御渡滿

伏見宮貞愛親王、東伏見宮依仁親王兩殿下は旅順忠魂碑除幕式に御參列相成るべし(同上)

▲上旬の外國貿易

本月上旬の外國貿易は三百五萬圓の輸出超過を示せり(同上)

▲相撲道奬勵新策

相撲協會にては相撲奬勵の一新策として横綱、大關關脇を倒したるものには金メタルを賞與する事に內決し來年一月場所より實行すべし(同上)

大連電報

▲兇漢審問の經過

關東都督府地方法院に護送されたる兇漢安重根外八名に對しては平石法院長並に溝口檢察官ども今回哈爾賓に滯在し取調中なるを以て未だ一回も正式豫審を開くの運びに至らず依つて只警察上の取調べを進め居るが之れには明石參謀長並に倉知政務局長も立會審理しつゝあり(十三日發)

北京電報

▲ペ大佐の再探險

北極探險に成功したるペアリー大佐は更に五箇年を期して南極を探險すべく企圖しつゝあり(十三日着)

▲布哇の米國海軍

布哇シンジユ灣は米國海軍鎭守府と撰定せられたり(同上)

▲水野領事と在留民

日本人及び米國人間に人望あり且つ敏腕家の評ある水野總領事俄かに歸朝を命せられたるに付日本人間に疑念を抱き居れり(同上)

▲ク博士姿を隱す

北極檢險家クツク博士は突然姿を隱したるが博士の親友等はペアリー氏の主張に對し新證據を提出せんが爲と信じ居り

歐州電報

▲加藤大使の演說

倫敦市長晩餐會席上に於て加藤大使は乾杯辭に答へて曰く日本國民に只管日英の友誼を喜べり此の友誼は只に直接關係ある兩國民に於てのみならず全世界に於ける平和と交情を維持するに有力なるものなり又日本國民が熱心に希ふ處は此の同盟の繼續せん事にありと(十二日東京經由)

▲伏見若宮妃殿下

伏見若宮妃經子殿下には六日巴里に安着目下御滯在諸般の御準備を調へさせられ十六日倫敦に向ひ博恭王殿下に御對顏の御豫定なり(同上)

▲露國議會開會期

露國政府は今期議會に於て海軍擴張に伴ふ豫算其他鐵道敷設に關する重要なる提案あるを以て今期議會は來十二月に繰上開會すべし(同上)

▲飛行家の大名譽

飛行家ツエツペルン伯は佛國學士會より金盃を受領せり(同上)

▲シルレル祭擧行

獨逸文豪シルレル百五十年誕生紀念の爲め獨逸にては到る處シルレル祭を擧行せり

▲フイツセル元帥

英國第一軍司令卿サージョン、フイツセル氏は海軍元帥に任ぜられたり(同上)

▲キール軍港疑獄

キール軍港疑獄に對し同國に惹起したる憤慨は昨年十一月の獨帝會談事件の夫にも匹適し海軍官吏に付き嚴重なる調査を行ふべしとの聲高く皇帝陛下はシユーレル提督を引見したり(同上)

雜報

軍司令官の謁見

曾禰統監は今十三日午前十一時半大久保軍司令官並に小倉經理部長、岡本參謀、十時副官、石井、外波兩武官、佐竹秘書官、前間通譯官を帶同し昌德宮に參內韓皇陛下に謁見し軍司令官は來る十五日を以て一時歸朝する旨を言上し約廿分間にして退闕夫れより小倉經理部長を除き一同は順路德壽宮に參內太皇帝陛下に謁見し大久保司令官より告別の爲め參上したる旨を言上し同十二時半退闕歸館したり

理事廳の擴張說

統監府理事廳は今回委任司法權實施の結果從來の司法事務を新設司法廳に引繼ぎたる爲め今後は純然たる行政機關のみとなりたるが一方漢城府內に於ける行政狀態を顧みるに吾が理事廳と韓國漢城府とは其事務次第に接近し現に衛生の如き本年の虎列拉病流行に際しても商別の行動不利益なりしと又道路の如きも邦人居留地と韓國道路との分界明かならざるものあり其他各般の市政事業は此際寧ろ統一するの便なるに如かず且つ政費の上に於ても多大の節約を爲し得るのみならず日韓現時の狀態に適應する所以なれば漢城府を吾が理事廳に併有せんとの議起り居れり而して此必要は單に京城のみならず他の各府に在ても正さに適切なれば全道に亘りて此制度を施行し之が形式は特種の日韓協約を締結するに到るも可し

●北韓方面の勁商敵

一時殺氣を以て滿されたりし間島の天地も近く兩國の圓滿なる解決により腥氣一掃と同時に有望なる貨物吸收の大市塲として紹介さるゝに至れり我國深く爰に見るあり已に淸津港を待つに特別輸入の津港を以てし一面吉會鐵路の布權を收むる等當局の用意は頗る周到なるが如きも當面其局に膺るべき我商人の覺悟は果して如何に由來利を見るに敏なる支那人は同首都を以て目さるゝ局子街に移住するもの近頃頓に多きを加へ同時に淸津港に仲繼店を設け壟斷の計を畫する者さへありと聞く今に於て斷る計畫は稍々早經の觀なきに非ざるも商機に懸けては世界獨步の淸商必らずや充分の成算を有すべし若し油斷して彼等の爲めに一籌を輸せんか折角の淸津關稅の開放も吉會鐵路の布設も我等には殆んど無意味に終らざるなきか現時己に元山に於ける貿易の樞軸は殆んど過半迄淸商の掌裏に歸し居れる狀態に徵しても淸商及び同附近を通して果して渾春及び局子街の淸商と對抗し得べき日商の存在を認め得べきか思へば心細き限りなりと最近同地方視察の某實業家は語れり

▲三浦理事官の談

民長後任に就ては世人の既知する如く輿望の傾向を聞はんと欲し各議員に對し適任者を物色して申出でん事を內示したるに何等統一的希望を知る能はず甚だ遺憾とする處なり元來民長は官撰制度なるも漫りに他より拉し來る時は曾に當地の事情を知悉せざるのみならず徒らに民論の反抗を招き自治機關の圓滿なる運行を誤るの虞れあるを以て可成市民中より推擧せんと欲するに外ならず然るに市民の推撰協議會は彼が如く吾が當局者の希望を空ふせるを以て不得已當分は助役をして代理せしめ徐ろに成行を觀望するの外なきを以て決定迄には尙多少の時日を要すべし云々

●經濟研究會の開催

仁川經濟研究會は既報の如く一昨日午後七時より開會したるが出席會員二十五名にして先づ第一に月尾橋の存廢問題に就て討議せし結果今日に於ては該橋梁は全く障害こそあれ無用の長物に外なければ撤廢するの必要あるものと認むる旨決議し次で仁川築港速成問題に就き審議せしが這は同會に於て速成の理由書を作製するに決し韓國內地道路開鑿の件は宿題として各自調査の上更らに審議するに決定し尙ほ輸出穀類に對する改善の件は顧問に不參の向ありし爲め次會に繰延ぶる事に決定し散會せしは午後十時過なりしと云ふ

●本月上旬韓國貿易

本年貿易額の港別左の如し

區別	本年本旬分	前年同期
輸出品價	三七〇、九九九	二九七、五三五
輸入品價	一、三〇四、六二九	九三九、三六八
合計	一、六七五、五四八	一、二三六、九〇三
輸入超過	九三三、七一〇	六四一、八三三

港別	輸出額	輸入額	計
仁川	四五、九二三	三七一、一七三	四一七、〇九六
釜山	八五、一九九	二一九、二二三	三〇四、四二二
元山	三一、七七八	九五、二四四	一二七、〇二二
鎭南浦	六三、〇三三	一四四、四九四	二〇七、五二七
京城	三、九六九	三三三、二〇四	三三七、一七三
群山	一三、六一八	一九、九四五	三三、五六三
木浦	四六、二七七	二三、九二一	七〇、一九八
馬山	四、五〇九	一一、五三二	一六、〇四一
淸津	一、六二一	四五、〇八九	四六、七一〇
城津	四、三二〇	一一、三〇七	一五、六二七
新義州	二一、七二〇	一三〇、四一六	一五二、一三六
計	三七〇、九九一	一、三〇四、六二九	一、六七五、五四八

●兌換券增發と商況

第一銀行兌換券の發行高は既に千二百萬圓以上に達し實に稀有の增發なるが右は主もに新米の出廻期に際し多く地方に廻金されたる結果にして之が爲めに地方農民の金融は頗る順調なるが如きも商況は恰かも反對の現象を呈し現に冬物の仕入季なるに拘らず地方商民の入京するもの意外に尠く目下京城商況の一班は案外沈靜の姿あり蓋し是れ米穀豐作の爲め相場倍々低落し割合に購買力の上に好影響なきのみならず兇變の結果民心恟々として徒らに不安の念を抱かしめたる爲めならんと云ふ

●民長候補と統監府

昨紙所報の如く輿論に諮問したる民長候補者は遂に不得要領に終れるを以て昨日三浦理事官は統監府へ出頭協議する處ありたるが統監府にては篤と熟考の上擇定する事となりたり然れば民長の椅子は當分其儘に放置せらるべし

●貯水池の觀覽案內

大韓水道會社に對する賠償金問題は理事官の要求に對し不服を唱へ理事官亦強硬に之を刎ね付け今に落着せざるに同社は何を感じてか明十四日日曜日韓兩官憲を纛島の貯水池に招待して觀察を乞ひ鄭重なる饗應を爲す由なりしに對し三浦理事官は都合により謝絶せりと

●紀念碑金募集中止

李學宰等主唱の伊公紀念碑建設金募集は世間の信用なき僻說に任かせ置きし爲捗々しからず寧ろ俞吉濬の歸京を待ち之に盡力せしむる方好都合ならんとの趙農相の注意により一時見合せたり

●追悼會の式場變更

來る廿六日石鼓壇に於て開會の筈なりし伊公國民追悼會は全國民の大會を催ふす計畫なるに對しては式場狹隘の感あるを以て訓鍊院の廣塲に變更すると

●警備電話の開通期

仁川、長淵、瓮津間の警備電話は目下工事中なるが遲く共本月末には竣工すべく來月初旬より開通する豫定なりと

●兩博士の滿洲行き

水原勸業模範場長農學博士本田幸介氏は來京中なりし農學博士古在由直氏を同伴昨十二日出發鐵路滿洲へ向ひたり

●木越師團長の歸龍

西韓巡視中の木越第六師團長は今朝八時五分新義州出發午后十時九分歸任す

●荻野文學博士入京

東京帝國大學文科大學教授荻野由之氏は昨十二日入京不知火旅館に投宿せり

●三島韓銀理事歸京

上京中なりし韓國銀行理事三島太郎氏は昨十二日午后八時十分南大門着歸京

龍山通信（十三日 支局報）

▲衞戍研究會發會 龍山及京城衞戍の將校同相當官は精神を研磨し兼ねて兵要智識を補修高上するの目的を以て衞戍研究會を組織し本日午後一時より第一回例會を開きたり中村砲兵大尉、松村騎兵大尉、帖佐步兵大尉、高月一等獸醫等の軍事及精神修要に關する設題講話ありたり因に同會々長は佐原師團參謀長幹事は植木參謀にして例會は毎月一回以上開會せらるゝ筈

▲青年會幹事交迭 龍山鐵道青年會幹事今熊太郎氏南滿鐵道青年會に轉じ石丸優三氏其後を襲げり

▲龍山の擊劍大會 既報の如く本日龍山停車場前廣所に於て開催されしが會場は紅白段々の幕を引廻はしたる外何等の裝飾を用ゐざる最と相應しかりき午後一時開會澁谷一、篠崎仁平二氏の木刀形及石山寬八郎、上田一次、篠崎仁平三氏の居合ありて勝負に移り所謂櫻虎搏三十八番ヤツトーの懸聲漢江々畔晩秋一日澄の空に響き勇し

●牛皮の好況

本國に於ては日露戰役中輸入過多の爲め戰後引續き不況の底に沈み居りし皮革類も本年の豐穰と人氣の昂騰に伴ひ秋に入りてより大いに活氣を現し來りしも何分各自手控へ在荷手薄なるが上に斧產本國の價格昂騰を告げ殊に大產地米國は益々高價を報じ支那產も又獨逸の購買盛にして仕入容易ならざるに近く東京被服廠に於ては納期十月より來年三月に亘りて背囊七万個分の大購入あり尙ほ一面播州產酒皮の歐州輸出盛んなるに會し爲めに二三圓方の昂騰を告ぐるに至り始末なるが是に伴ふ韓產牛皮の好望は云ふ迄もなく今後益々良況の域に進むべし

●敍任辭令

左の通り任命ありたり

任財務監督局事務官(奏三) 松崎俊二

任大韓醫院醫官(勅三) 森內連吉

依願免官 漢城高女學監 赤羽千春

印刷局事務囑託勅任待遇 齊藤知三

財產整理局事務囑託 奏待 谷武松

●石田支店長危篤

十八銀行仁川支店長石田信一郎氏は兩三日前より急性盲腸炎に罹り昨今危篤の狀態にありと

●宮木稅關長出張

仁川稅關長宮木又七氏は漢江流域視察の爲一昨日石油ランチにて龍山迄出張せしが昨日歸任

●菅原支店長歸城

百三十銀行支店長菅原大太郎氏は上阪中の處昨日歸城

●是澤警視の歸任

大邱警察部長是澤興一郎氏は要務を了ね昨日歸任せり

●管田工學士退京

來京中なりし管田繁氏は十二日釜山へ向つて出發せり

●神谷書記官出發

平安北道書記官神谷卓男氏は昨日義州へ向つて退京す

●永田警視の出發

京畿道連川警察署長永田紀孝氏は昨日出發歸任したり

●今西文學士來着

東京帝國大學文科大學助敎諭今西龍氏昨日入京不知火

▲治外法權▼

理事廳を擴張して漢城府若しくは觀察道と合併せしむべしとの報傳はる、吾人は一昨年來屢々此說を爲して當局者を促したことがある、元來理事官の職務は知事と同一で統監は理事官長とでも云ふべきだ、されば統監が保護政治を施す上に就て地方官廳を二途に分つと云ふ不便はない外國の保護國杯も何れも其一途にしか出て居ない、從來は兎も角も司法權委任の結果理事廳の職務の幾分か閑散となれるに際し速かに實現すべきである▲例の大韓水道會社は明日曜日に當地官民有志を水源地に案內して視察を請ふ筈である、其目的の那邊にあるか今更玆に云ふ迄も無いが、序を以て會社に一言せんに日本人は決してカルホニア人の其れの如くではない宜敷く安心して業に就いて可なりだ、其代り彼等も例令東洋に於て事業を爲すとも西洋に於ける事業家の如く事業に對する義務の觀念を忘れん樣に爲て貰ひたい▲民長後任問題は愈々以て遺憾千萬である、殊に官選民長令に極力反對した議員諸君が當局者の諮問に對して一人の候補者を推すことなく只徒らに統監府の爲すが儘に放任し其れが爲め當局者は當分民長を置かず暫く熟考を促したりとか吾人は切に議員諸君の健在を祈つて止まぬのである。

●密漁船撃退と清國

[illegible]は諸種の懸案紛糾し[illegible]する誠意なきを認め[illegible]然頻頻海上當然の權[illegible]をして嚴重に監視を爲さしめ發見次第撃退しつゝありしが彼れ密漁船は容易に跡を絶たず昨今漸く減退の傾向あり[illegible]の通告に依り來たるに隨つて撃退するのみにて清國は是に對し何等故障を申立つる權利なき由なり

[illegible]の數を聞くに左の如し[illegible]書狀引受五〇、八二一、葉書四四、七[illegible]五二、[illegible]同二八[illegible]八、封緘同一、二五〇[illegible]計一一三、七六一。諸郵便配達數は一二〇、七一六通 小包郵便物引受數は一、一四八。同配達一、九八九個

[illegible]比較する時は十六名の加入者を減じたり

●慈惠醫院職員任命

[illegible]

北村良[illegible]

●立川警[illegible]長歸任

[illegible]開城警[illegible]長憲兵中尉立川吉太郎氏十二日出發歸任せり

福井茂兵衛優（十五）

うれにも懲りず第二回を東京座で月郊氏作「大蓮八郎」を演じたが今度も亦不成功に了る。仕打に就ては誠に申譯のない次第でしたが自分個人としては滿足でした。

此の年の暮れ大阪に歸り昨年十一月淺野座主の朝日座を松竹合資會社に讓り渡して[illegible]同座に勤續して居りました。一代記ではザッと恁んなものですが何分長い年月の間の事ですから前後錯雜して了解り惡いかも知れません、恁う申さば宜しく取捨を願ひます。

[illegible]ます、まづ第一は座長廢止です。一座を組織する場合に座長を置くと座員は自己の本領を忘れて只其の人の[illegible]のみに汲々として座長の方でも技藝の巧拙を措いて自己の私に適ふ者を[illegible]劇壇の進歩は期し難いと思つたので僕も明治三十三年に[illegible]

第二は音樂の練習です。現今の新派俳優の中に音樂の素養あるものが果して幾人ありますか。恁う申す僕も無論出來ませんが先づ一人もありますまい。自分が行れない癖に[illegible]云ふのは可笑しい[illegible]

[illegible]第三は女優問題です。[illegible]本位の我國にては何處迄も女優の必要を認めません、既に演劇既に美術である以上男子が女子に扮するのが何故不自然ですか。第四は帝國座の建設です、近き將來に於て建設されるに就ても[illegible]座長を置く事は不賛成です[illegible]問題として技藝に限らず[illegible]固守せるのみ[illegible]改良といふから後進者を[illegible]と思ふんです。[illegible]他日更めて[illegible]一言申して[illegible]徒らに先輩[illegible]折角舞臺上の[illegible]自充分にその本領を發揮して貰ひたいのです（終）

韓國紙幣の偽造

▲偽造十三萬圓　▲姫路署にて檢擧

姫路市龜井町七十三番地に於て大仕掛なる韓國紙幣の偽造を企て既に

十三萬圓を偽造し將に

滿韓地方に密輸して行使

せんとせるを姫路署の手に檢擧されたる近來稀有の大事件あり未だ調査終了せず從つて其筋にては

堅く秘密に

附せるが今聞き得たるまゝを報ぜんに[illegible]内豐澤村字豆腐[illegible]姫路市龜井町七十[illegible]りて裏に六坪の

土藏

[illegible]にして町内にて[illegible]年八月中何岡武右衛門なる者より

月十二圓の家賃にて借

受け表面肥料の製造販賣をなせる如く[illegible]製造せるやうに[illegible]謂りて注目中なりしが[illegible]は不圖姫路市内[illegible]

偽造

せるものある[illegible]き大事件と刑事[illegible]

内探

を遂げしに武[illegible]く且つ同家には

數名の怪しき紳士

の如く裝[illegible]所に

出入せ

[illegible]原籍岡山縣小田郡矢掛村猪木怨一、青木榮藏、青木小佐治、青木辨次郎と判明したれば内偵察せしに武右衛門方に韓國紙幣を偽造せるは

事實

なるより山之内署長は寢食を忘れ部下を激勵し一面同縣警察本部に急報せしかば本部高等課よりは遠藤警視姫路署に出張して

秘密會議

を開きたる結果

部署を定め

て武右衛門方へ

踏込み

紙幣密造所と目指せる裏手土藏内へ臨みたり該土藏は

同家庭續

きにして西手に庭園を控へ窓二個あり庭園には裏町の家に通ずる木戸あり二階造りの頗ぶる堅牢なるものにして此藏に紙幣偽造に用ゐる

機械

を据ゑ付け密かに偽造しゐたるものなり一行は直ちに家宅搜索を行ひ器械並に偽造韓國紙幣を

押收

し同家に潜伏せる前記怨一、榮藏、小佐治、辨次郎の四名を犯人として逮捕し尚刑事等は有力なる

證據書類

を押收して各地に急行し各連類者一同を

全部捕縛

したるが押收せる紙幣は十三萬圓に達し

摸造

頗ぶる

巧妙

を極め一見眞の紙幣ならざるやを疑ふばかりなりしと兎に角斯かる大仕掛なる偽造紙幣を行使前檢擧せしは近頃警察界の快事と謂ふ可し

龍山の一人心中

▲本町中村下駄店の雇人

今朝九時頃龍山京町通り京仁線踏切附近に轢死屍体横はり居れるを踏切番人が發見したるが死者は日本人男子にして腰を兩斷し頭部を微塵に碎き二タ目とは見られぬ無慘の死態にて通り懸りの人々は吾れ一と驅け着けては目を掩ふて逃出す程なりしが急報に依りて龍山署より竹村部長等出張檢視を爲し直ちに身元を取調べしに

▲轢死者の身元　轢死者は兵庫縣氷上郡芦田村西芦田一二三仲川新藏（十八）とて京城本町四丁目下駄商中村德次郎方雇人なること判明し屍体は主人德次郎に引渡されたり而して

▲轢死の原因　は遺書等も無きを以て之れを知るを得ざるも主人德次郎の申立てに依れば死者は惡性の脚氣に惱み居り醫師の注意に依り食事なども嚴重に制限し居たるに一昨十一日午後九時頃主家の金五圓を窃取逃亡したる爲め中村は大に氣遣ふて其の行衛を搜索中なりし由尚聞く所に依れば京城の踏切番人遠沼勇太郎は昨十二日午後二時半頃一少年が鐵道線路の附近を彷徨ひ居るを見て之れを制止せしが轢死を遂げしは件の少年ならんと言ひしより因て是等の事實を綜合して判斷するに同人は病氣の爲め食慾制し切れず主家の金を持出して買食に費消し盡し主家へは歸へれず去ればとて病氣の身の如何ともする能はずして遂に覺悟し轢死を遂げしものならんか親有らば斯る最後は遂げまじを哀れとも云ん方なし

●孤兒の財産を横領

▲不埒極まる養父

仁川内洞居住の金泰石（十三）及び金斗瀾（二〇）の父は過ぐる日露戰爭中我軍の通譯を命ぜられて安東縣に至りたるが不幸にも同地にて死亡したるより其母は同洞の朴大化と云ふに嫁ぎ右二名の子供も引取り居たるに其後前記母は假旦の病が因となりて彼の世に旅立ちたる後は大化の右二名の連子に對する虐待は何に譬へん方もなき程にて遂ひに本年六月追出したり然れば未だ幼年の身の誰に頼らん術もなく泣きの涙にて市中を徘徊せしを同洞の職局浦と云ふが見るに見兼ねて自宅に引取り養育する事となりたるが右二名の子供は兼ねて數百圓の財産を所持し居たるも養父の朴大化の爲め横領せられ居る事知れたれば一昨日仁川署に其旨屆出でたりと

●司法權委任祝賀會

▲藝妓總出で花車を曳く

來る十七日官民有志秋季大親睦會の名を以て擧行さる可き委任司法權實施祝賀會は目下發起人に於て夫れ〳〵準備中なるが今其模樣を略記せんに當日は午前八時より各料理店より藝妓總出にて花車を引廻はし晝夜烟花を打揚げ午後三時より京城ホテルにて祝宴を開き會場には摸擬店を設け會員自由に立食し市内は各町組合にて戸別に裝飾し日韓瓦斯株式會社は各所にイルミネーションを點じて景氣を添へ其他烟草會社又はビール會社代理店等にても趣向を凝らして祝意を表す可く而して有志者の寄附は既に五十餘名に達し會員は數千名の多き見込みなりと

●壯佛の舊惡露顯

仁川松坂町二丁目居住の原籍福岡縣久留米生れ紡方吉平（二三）と云ふは元京城壽座にて開演中の小泉三猿の配下にて藝名を鈴木一雄と稱へ居りしが放蕩に身を持ち崩し一座の体面を汚すの行爲ありしかば二年前破門せられ其後素發とてあらざるより仁川にて仲仕稼ぎを爲しつゝありたるに人傳に聞けば以前の師なる小泉が京城にて開演し居れる由を知つては昔取つた杵柄ならぬ腕の脚が戀しくなりたるものか本月五日力武精米所へ米選に通へる其妻ねなにの衣類有り丈けを搔き浚へて京城に高飛びし再び小泉に泣き附きて入門せんとしたるも以前同人の爲め懲々したる小泉は何時か承諾せざるにぞ詮方なく仁川に逆戻り丸嘉運送店にて勞働に從事し居たるを一昨日仁川署刑事は兼て同人の行動を監視し居り怪しき節あるにぞ本署に同行して取調べたるに八ケ月前日本にて窃盜犯に依り欠席判決を受け居れる尋ね者と知れたれば直に檢事局に廻はしたり

●惡郡守の免官

全羅南道尾城郡守金潤昌は在職中御下賜の救恤金を他に轉用して本人に交附の期を愆り或は又他人の委托品を不當高價に強買して着服し且つ常に郡守公私用として人民より不法の徵收を行ふ等汚行醜態到らざるなく惡吏の標本として保護以前の韓國にも容易に其比を見ざる白徒なりしが惡運強くも去る十日迄其毒爪を逞ふしつゝありしに天道如何でか斯かる奴輩を容るべき果然一昨日免官せられたり

●七人組の韓強盜

仁川郡黃等川面二里重林里の牛肉商金啓仁方に去る七日午後八時頃七名の強盜は各々手に刀及び混棒を携へて闖入し來り右金及今一人の韓人を高手小手に縛りあげて金三十二圓及び白米一斗四升を強奪し安山方面に逃亡せしが同地は素砂より二里を隔る地點にして其れが爲め昨今同地方は人心恟々たり

●仁川宮町の夜嵐

熊本縣生れ中津又藏外數名は一昨日午後十一時頃仁川京町二丁目樓前德太郎方にて丁よ半よの眞最中の芝田松藏（三四）及び同縣中津又藏外數警八風に吹き込まれ右兩名は直にキリ〳〵起てと本署に引致され他の數名は逃走したれば目下搜査中なりと

●刑事殺の公判期

仁川地方裁判所にて審理中の京城刑事殺し事件に對する第四回公判は本月下旬同裁判所第一號公判廷にて開廷せらるゝ筈なり

●種痘の執行

其筋にては來る十五日（歌舞伎座）十六日（本願寺別院）十八日（京城座）十九日（京城居留民團龍山出張所）に於て種痘を爲す筈なれば受痘者は當日最寄種痘所へ出頭すべしと

●遺失品拾得

昨日午後六時頃本町五丁目壽座入口街路にて毛糸製桃色小供用肩掛一筒拾得せり心當りの者は南部署に申出づ可しと

●仁川遊廓の檢梅

仁川敷島遊廓にて一昨日行ひたるが受檢者八五名中梅毒にして内洗滌を要するものは六名有毒引續入院四名ありと云ふ

●昨夜の新町

遊廓の遊客は七十六人此消費額四百十三圓十七錢なり

淨藝

●雜誌朝鮮社長釋尾夫人の葬儀

釋尾氏夫人は不幸病沒せられしが葬儀は明十四日午後二時本町九丁目自宅出棺高野山に於て執行する由

▲壽座●　福井、伊東大一座明日及び明後日の替は前「化柳」切りは福井の出し物「稚曾我」なり役割は左の如し

辰見上等兵、工藤左衛門祐經（伊東）咲村中尉、久七禪師（小泉）北尾妻れ淸（吉野）直次情婦れ後（藤島）北尾弟清二郎、工藤祐宗（小泉英）村長村瀬御坊阿闍梨（北秋）れ嶺の直次、近江小藤太（芳川）磐部山崎、八幡三郎（香月）北尾曹長、稚兒箱王丸（福井）

吉凶鏡

本町五丁目　三一舘判斷

十一月十四日舊十月二日六白大安戊寅

●一白 業務及官職上利益若くは便宜を得る事あり競爭執若くは中傷誣妄あり△二黑● 靜穩の日常業常事は差問なし旅行轉移舟下し入學門等凶紛失遺失防ぐべし△三碧● 衰運の日なり新事見合の事金品授受決算帳簿章券の事留意を要す△四綠● 不快の事多し爭論不和盜害横領防ぐべし△五黄● 不平宿怨を釀成し易き日なり貸借上に間違紛紜起り易し△六白● 依頼懇願等に應諾する勿れ之が爲め永久の禍根を生ずる事あり△七赤● 證書印形の類留意すべし倘爭論を戒しむ△八白● 人より不服若くは叱責にあふあり倘人を過重に疑ひ誤りあり△九紫● 不穩の日なり主として貸借取引賣買保證の法律干係に注意すべし

十一月十五日舊十月三日七赤赤口己卯さたん△一白● 盛運の日なり大概吉旅行入門婚姻鑛業等吉△二黑● 家族又は家庭内に些少の世話事あらん其他平凡△三碧● 交際取引上の爭論間違起らん建築伐木は吉其外大抵凶△四綠● 盜難横領防ぐべし概して厄運の日なり△五黄● 保證世話事貸借取引に間違起り易し旅行轉住凶△六白● 分業分家等吉些少の驚駭ある日なり大凡吉凶平準す△七赤● 創始改易の事凶尚旅行船出轉宅凶△八白● 他人又は親戚のため世話事若くは出損の勞有△九紫● 沈衰の日新事改易凶相談依頼契約等面白からず

◎天氣豫報

（自十三日午後六時　至十四日午後六時）

北東風曇

十二日（華氏）　最低温度 五五、九　最高温度 二九、五

各種 洗濯石鹸 專門製造販賣

用途 陸軍、鐵道、船舶、水道、鑛山、湯屋、散髮、諸工業用

京城旭町二丁目 (電話九七三番)

朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●小僧入用 年齡十五六歳にして身元引受人ある者二名至急入用 明治町 日韓印刷會社

●至急求職 確實なる保證人を有する身體强健なる壯年男兒如何なる勤務にても厭はず至急職を求めたし氏名在社

●望事務員 相當の敎育ある靑年至急職を求む 氏名在社(四七三)

●外交員募集 一日一圓以上の收入ある外交員一名至急入用氏名在社(四七七)

●店員入用 十六七歳にて確實なる保證人有者 龍山京町古田米店(四八〇)

●下婢入用 十四五歳の下婢を求む餘暇には裁縫習字讀書諸禮生花等女子に必用なる敎育を施す氏名在社(四七九)

檜崎正五郎 至急現住所知らせ 社内 酒井

物件部

●醫院讓渡 京城市内有望の地希望の方は至急申込あれ 氏名在社(四六三)

●京城旭町一二階四疊半二間賄付貸たし但可成官吏を望む氏名在社(四六四)

●電話讓受たし 京城黃金町廿番戸農商工部前通り 京城勞働組(四六五)

●本町表通一等地商店間口二間半家賃廿圓の處造作悉皆四十圓にて讓渡度し希望者は鐘路赤帽子號高橋方へ急談

●貸家本町通り目抜の場所にて貸家あり希望者は來談あれ氏名在社(四七〇)

●自轉車 英國製コースター付格安に賣渡したし 氏名在社(四七六)

●貸家 南山町二丁目二階建十疊と三疊と廻椽二階六疊二間廻椽井戸物置湯取付家賃面談 氏名在社(四七八)

廣告

新案特許 既願

井上式車輪

時代の要求せる人力車用木製車輪 當式に比し約半量にて(自轉車型)メリケン車輪に匹敵する堅牢と體裁とを兼ぬる輕車輕なり乞ふ御試用あらん事を

製造元 東京神田錦町 (電本一三二六番) [illegible]

井上商店

入院隨意 菅醫院

京城西小門通六番戸 電話九六〇番

統監府御用 宮内府御用

軸物、表裝、金銀屏風、額面、襖、壁張、天井張、雨戸、障子、硝子戸、其他表具、建具一式

表具 建具 京城鍾路 (電話二八七番) 商 石川辰次郎

新學期開講

大日本國民中學會

燈火親しむべきの秋は來れり

▲中等敎育の素養なき者は遂に社會の劣敗者たるを免れず事情の爲め中學校に入る能はざる青年にして短き時間と少き學資とを以て完全に中學全科を獨習せんと欲する者は入れ 本會の講義録によりて學習せば中學在校者と何等異るなき實力を得べし

此の絶好時機を徒消せずして眞正なる立身成功の基礎を造れ

▲萬朝報曰く中學敎育程度の講義録は何十種もあれど大日本國民中學會の發行に係る物程善き物は他に見ず

▲報知新聞曰く大日本國民中學會の正則中學講義録は中等敎育に最も良きものとして第一に推すべきもの也

▲朝日新聞曰く他の講義録の缺點を滿して最も平易に最も親切也

入會の最好機は今日也 此際至急入會者には特典を與ふ 第十二回新學期開講紀念の爲め

東京市神田駿河臺袋町 大日本國民中學會 電話本局三七〇〇 三七〇四

東京火災運送海上保險株式會社

明治廿年七月創立 資本金二千萬圓

京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九番

事務所 京城本町二ノ三 電話一〇六番

●正味十六オンスの容量あるは全國輸入の多數ミルク中鷲印を措て他に需むる能はず

季節と勉强

最も御經濟なる出來合品

各種洋服 フロックコート インバネス 婦人コート 鳶形 引廻し オーバーコート 改良小供防寒衣 絨製厚司

右各種多數荷揃致し候に付此際一層勉强致すべく候間多少に拘はらず御買上之程願上候

尚地方の御注文は豫め寸法御指値御申越被下候はゞ早速取計ひ引換小包に送付致候

京城本町三丁目 田中洋服店 (電話九九三番)

特約販賣 自製

漬物 醬油 味噌 製造元

京城本町五丁目

大上商店 (電話二五一番)

和洋酒、罐詰、穀物類、銘茶、乾物類、荒物、食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽、各種特約販賣、尚御希望に依り商品切手調進仕候

最新版 朝鮮雜誌社編纂發賣

韓國要覽

洋裝一冊紙數四百餘頁 定價金壹圓 郵稅十錢

目次概略

第一章 地理（位置、面積、區劃、戸數及人口 [illegible]）第二章 [illegible] 第三章 [illegible] 農業、工業、商業、鑛業、水産、森林、交通、通信、敎育、宗敎、法制 [illegible]

發行所 京城本町二丁目 日韓書房

暖爐各種

煙突取付並ニ煙突掃除大勉强

京城本町五丁目角 電話四七一番 馬木勇吉

龍山山下町兵營敷官舎道入口 電話三六四番 馬木支店

廣告

新荷着廣告

トルコ煙草 金口 キルク口 百本入 五十本入 廿五本入 各種

ロシア煙草 百本入 五十本入 廿五本入 各種

葉卷煙草 マニラ 各種

右今般多數着荷仕候に付特別安價を以て販賣仕候間多少に不拘御注文被下度尚地方よりの御注文は引換郵便にて迅速に御送附可申上候間續々御注文被下度偏に奉希上候

京城本町四丁目 デーパーテリス商會 (電話九五六番)

仁川本町四丁目 穎原兄弟商會

營業科目

和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類

韓官衙御用品調達 各學校御用品調達

委託販賣

東京 ランバーダ商會代理店

東京 中外アスファルト株式會社代理店

東京 千代田生命保險相互會社代理店

東京 博文館發行書籍特約店

東京 金港堂發行書籍特約店

釜山 臺灣鹽賣合資會社食鹽特約店

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目 (電話三二番)

出張所 東京京橋區 [illegible]

宮内府御用

博物館 古今美術 表具 松月堂

金屏風襖張 壽町二丁目

牛乳 純良 消毒 檢查濟

韓國畜産株式會社 南大門外 (電話八八番)

入院隨意 中島醫院

京城壽町三丁目 (電話三七八番)

院主醫學得業士 中島貞信

日本郵船 滊船出帆 仁川 郡回漕店

[illegible]